

八王子 心ふれあう 明るいまちづくり

第15号

八王子市町会自治会連合会

発行/八王子市町会自治会連合会 ■発行責任者 秋岡利久  
〒192-0063 八王子市元横山町1-29-3  
E-mail chojiren@chojiren-hachioji.jp

# 町自連だより

2012年7月1日

☎ 042-648-6110

2012年6月現在  
町会自治会数 23地区324  
加入世帯数120,569世帯

広告の  
お問い合わせ先 株式会社ヒラツカ印刷社  
TEL:042-623-0381

タタミのあなみず

八王子・片倉町

☎042-637-3459



左から、ファンキー加藤さん、DJケミカルさん、モン吉さん。浅川で撮影された

## 八王子わが町

### ファンキー加藤さん いつか「音楽フェス」を 八王子市民球場でやりたい!!

ファンキー・モンキー・  
ベイビーズ

「八王子わが町」の2回目は、今や、常にヒットチャートにぎわす人気アーティストとなった、ファンキーモンキーベイビーズのファンキー加藤さん。ファンキーさんには八王子に関しての1問1答をお願いしました。

あなたが八王子で一番好きな景色はどこですか？ベスト3をお答えください。

**加藤さん**（以下K）高尾山の中腹から見る市内の風景/市役所前の河川敷の夕焼け/小宮公園の豊かな緑  
小さい頃は、八王子のどこいらへんで遊んでいたのですか？  
K 旧そごうの屋上/八王子城址/恩方の川

八王子で好きなお店（飲食店）3つをお答えください。

K 宮城（ラーメン）/シャリマール（カレー）/たまや（うどん）

あなたが、八王子を知らない人に八王子を説明するときどんなふうに説明しますか？  
K 街と自然のバランスが絶妙です。心を癒したいのなら是非とも。

小さいころの地域のお祭りや行事の思い出はありますか？

K 八王子祭は必ず行っていました。甚平を着て、出店で焼きそばを買い、美しい山車を見ながら友人と語り合いました。

これからの八王子に、どうなっ  
てほしいと思っていますか？

K もっともっと元気な街になってほしいです。高尾山だけではなく、織物や八王子ラーメン等、名産品を全国的に広めていきたいですね。

八王子の政治家にあなたがなったとします。八王子を盛り上げるために、何をやってみたいですか？

## シングル『この世界に生まれたわけ』も大ヒット

ファンキーモンキーベイビーズのシングルは、毎回、さまざまな著名人が出演してくれることで有名です。2月に発売された『この世界に生まれたわけ』は、松下奈緒さんがジャケットに登場した18枚目のシングル。皆さんもぜひ、八王子のスーパースターの曲を買って聞いて、応援しましょう！



K 若者主導で音楽フェスを開催したいです。場所は八王子市民球場で。その際は、是非とも僕たちを呼んで下さい！  
八王子のベイビーズに一言  
K 愛してるぜ、八王子BABYS！これからもよろしくな！

関東有数の大きさを誇る、多賀神社の宮神輿



# 復活！八王子まつり

昨年の東日本大震災の影響で中止となり、今年が2年振りとなる『八王子まつり』。8月3(金)、4(土)、5日(日)の3日間開催される八王子まつりについて、実行委員会の方にお話しを伺いました。

八王子まつりは、昭和36年、「3万人の夕涼み」という名で、市民祭として始まりました。時代と共に形を変えながら、平成14年からは、山車を中心とした祭りになり、現在に至っています。平成15年には、全国でも有数の伝統芸能と認められ、「地域伝統芸能大賞」を受賞しています。

元々は約300年前から、八王子では祭りの際に、神輿、山車をひきまわっていたというほど歴史が古く、それだけに、八王子市民の神輿や山車に対する思い入れは非常に強くなっているのです。

「八王子まつりは基本、氏

子の祭り。縁あって、この地に生まれて、氏神様に守られているわけですから、各地域、町会、自治会の方々が主役の祭りなんです(実行委員会広報宣伝部会・青木氏)」

八王子まつり実行委員会としては、皆さんに祭りを楽しんでもらう見応えのある行事も計画しています。が、むしろ、このまつりを契機に町内交流が活発に行われたり、地域、市内がまとまって、活性化することを願って企画しているといえます。さらに、「市民は



八王子の山車は見事な彫刻が特長

もちろん、八王子の大学に通っている学生や留学生の方々にも山車の引きまわしなどを体験してもらっています。八王子に通って良かったな、と思い出にしてみたら、とても嬉しいです(前出・青木氏)」

昨年、東日本大震災に伴う計画停電の影響などで、中止を余儀なくされましたが、完全な中止は昨年初めてでした。市民の方々が、どれだけ楽しみにしていたかを、各所で伺うたびに『八王子まつり』を実行する大切さを痛感、「それだけに、2年振りの祭りで、皆さんが、今まで以上にまとまって盛り上がる、という機運が高まっていると感じています(青木氏)」

今年は何年行われている「民踊流し」「関東太鼓大合戦」「獅子舞」なども実施予定。また、金・土曜日の両日、甲州街道沿いには、ずらっと夜店が並び、にぎやかにまつりのメインスト



八王子まつり実行委員会 広報宣伝部会・青木氏

リートを盛り上げます。

「物質や技術は豊かになっているが、「超」アナログな祭りこそ、実は今の人間にとって必要なものではないかと思っています。みんなと一緒に汗かいて祭りの準備などを通じて人間関係を学ぶ事は、今の時代、なかなか体験できないのではないかと。このような貴重な体験を色々な世代、特に子供たちに体験してもらい、豊かな心を培ってほしいと願っています(青木氏)」



# 組織のさらなる

# 発展をめざす

## 町自連第10回定期総会を開催

町自連は5月27日17時から、八王子エルシイにおいて第10回定期総会を開催、平成24年度事業計画・予算案を満場一致決定しました。終了後は、八王子市長をはじめ、多くの来賓を迎え懇親会を開催しました。

多くの出席者で満席の会場。活発な意見交換も行われた



総会は、細井副会長の司会で始まり、開会の挨拶を馬場副会長が行いました。総会へは委任状を含めて

255人が出席し、議長に原田忠雄さん（川口西部町会）を選出して議事が進められました。

### ■ 行政との対話を強化 秋間会長が挨拶で強調

冒頭、挨拶に立った秋間会長は「東日本大震災から1年が経過したが復旧、復興は進まず、一方において急速な高齢化社会、若者の雇用問題、年金問題など、難問を抱えた1年だった。町自連は「向こう3軒両隣」を基本にして幅広く活動してきた。とくに、阪神淡路大震災や東日本大震災

の過去を知り、現在に活かすために防災研修会などで意識の高揚を図っている。24年度は、市長をはじめとする行政との話し合いをしっかりと取り組み、災害に強いまちづくりと町自連組織の大きな発展の足がかりをつくりだしたい」と決意を明らかにしました。

### ■ 平成24年度事業計画・予算案を満場一致決定

平成23年度経過報告を前野事務局長、決算報告を平塚会計担当、監査報告を田中監事が行い、承認を得たあと、引き続き24年度事業計画を渡辺副会長、予算案を平塚会計担当が提案を行いました。これに対し延べ10人から質問、意見が出されましたが、最終的には満場一致決定しました。

### ■ 退任者21人に感謝状

町自連では、地区連合会会長、町会長・自治会長を4年以上勤め退任した方を表彰規定に基づき表彰していますが、23年度末は21人で、総会の席で会長から感

謝状が贈られました。

### ■ 八王子市長など参加 交流を深めた懇親会

懇親会には、石森八王子市長をはじめ、坂倉教育長、水野市議会議長、あくつ国會議員、東村・相川都議會議員、八王子市社会福祉協議会をはじめ、関係諸団体の代表者など多数の来賓を含めて約130人が参加しました。

石森市長は「行政全般にわたって、町自連から様々な協力をいただいております。行政は町自連へもっと支援すべきだと考えている」と述べ、具体的には「町会加入のガイドブックづくりや事務交付金の増額、集会所の整備費など早い時期に検討していきたい」とことなどを明らかにしました。

懇親会では、初めて出会う町会長・自治会長が交流を深め、同時に来賓との情報交換など、今後の町会・自治会活動にとっても極めて有益な場所でもあります。

### ■ 重点課題はこれだ！ 平成24年度事業計画

- 組織の強化拡大
  - ① 地区連合会の活性化及び必要な組織の統合・分割の検討
  - ② 東京都の「地域の底力再生事業助成」及び八王子市の「交流事業補助金」の積極的活用
  - ③ 未加入町会対策の強化
- 活動の活性化に向けた人材の育成・発掘にむけて行政と支援策を協議
- 町自連の自主財源の確保と充実
- 広報活動の強化
  - ① 「町自連だより」とホームページ「町自連の充実」
  - ② IT化及び高齢者支援策の「パソコン研修会」の継続開催
- 「自治会活動賠償責任保険」の普及
- 八王子市と市民活動協議会が協働運営の「ゆめおりファンデ」への参加
- 東京都町会連合会及び多摩地区連合会との連携強化

# 町自連への加入が相次ぐ ついに12万世帯を突破

町自連には現在、315  
団体、11万8777世帯が  
加入していますが、新年度  
に入り、次の町会・自治会  
が新たに町自連へ加入しま  
した。

□都営長房西アパート連合  
自治会（会長＝村上正裕  
／西12自治会・西13号棟  
自治会・長房アパート西  
15号棟自治会・西16自治  
会・西17、18、19自治会西  
23自治会・西26自治会の  
7自治会／横山北地区）

□長沼町会（会長＝田代平  
二ノ北野地区）

□大谷町さつき野台自治会  
（会長＝奥村 司／東北  
部地区）  
この結果、町自連の6月  
1日現在の組織構成は、  
324団体・12万569世  
帯となりました。

町自連は今年度の重点課  
題の一つに組織の強化拡大  
を掲げていますが、まさに

その突破口を切り開くもの  
です。

今度の加入にあたって、  
都営長房西アパート連合自  
治会の村上会長は「地区連  
合会から再三に亘って加入  
の呼びかけがあった。情報  
の迅速性、行政との連携、  
地域の仲間との連携は町自  
連に加入しなければ実現で  
きないと判断した。今後は  
町自連の一員としてしっか  
りと役割を果たしていきたい」と加入した経緯を明らか  
にしました。

八王子市内には町自連へ  
加入していない町会・自治  
会・管理組合がまだ235  
団体もあります。各地区に  
おいては未加入の町会・自  
治会に対して町自連へ加入  
するよう積極的に働きかけ  
を強めましょう。

町自連加入の相談は  
町自連事務局へ

# 元八王子地区のオリジナル「かるた」が完成

元八王子地区連合町会で  
は、地域オリジナルの「か  
るた」を完成させ、地域の  
小中学校等に寄贈しまし  
た。これは、40年以上続い  
ていた地域運動会が、平成  
21年にインフルエンザの大  
流行により中止、その後、  
運動会に替わる新しい地域  
交流の取り組みのめざすを  
模索していたところ、元八  
王子地域住民協議会の会議  
の席で松木誠司さんから  
「地域のかるたを作成する  
のはどうだろうか」と発案

され、地域のみなさんで作  
成されました。

地域の一般・小中学生か  
ら、広く「かるた」の文言  
と絵画を募集すると、文言  
1156句、絵画820点  
ものたくさんの応募をいた  
だきました。その中から、  
半年以上かけて、それぞれ  
48点を選考しました。絵画  
に関しては、応募があった  
全820点を市民センター  
で展示し、多くの方々にご  
覧いただきました。

作成費用は東京都の補助  
金制度なども活用  
用、費用の負担  
軽減も図りまし  
た。また、この  
取り組みはメ  
ディアにも注目  
され、テレビや  
新聞でも広く紹  
介されました。



かるたの外箱とかるた

完成した「か  
るた」は、文言

と絵画を採用された96名の  
方々に賞状、お礼状と共に  
差し上げました。その他、  
地域の小学校へ50、中学校  
へ20セット寄贈の他、地域  
の幼稚園や保育園などにも  
送りました。完成品を受け  
取った学校や保護者の方々  
等から、たくさんのお礼状  
を受け取ったそうです。

秋には、この『かるた』  
を使って、かるた大会も予  
定しているそうです。「子供  
の頃から地域活動に参加で  
き、成長しても記憶とわか  
ちを残せるものを作りたい  
」という地域住民の方々の  
思いが、みごとに実を結  
んだ取り組みになりました。



地域ゆかりの場  
所や豊かな自然  
が描かれている



## 町会・自治会活動ダイジェスト

## 月に2回の町内清掃

廿里町会(浅川)

廿里町会(会長:下田泰造)は毎月第2日曜日をアドプト制度に



基づいた町会主催の清掃デー、毎回70名位が参加して水路と道路、自宅周りなどの清掃を行っています。

また、老人会は第4土曜日にゴミ拾いや缶拾い、廿里公園の清掃を行っています。

以前は今と違ってゴミに対する意識が低く、吸い殻のポイ捨てなど何とも思っていなかった時代でした。ゴミの持ち帰りなどという気はほとんどなく、森林科学園の桜保存林の花見の頃は町内のあちこちにゴミの袋が放置されていました。そのような状況の中でそのときの町会長が「町をきれいにしよう」と声をかけ、森林学園のご協力で清掃活動がはじまり今日に至っています。

ゴミに対する意識は向上したとは申せ、まだ心ない人がいるのは悲しいことですが、幕末から明治にかけて訪れた外国人が日本の清潔さに驚いたように、廿里の町も清流があるきれいな町をいつまでも保ち続けていくために、これからも町民と共にならばっていきたいと考えています。

## みんなでいきいきと

暁東町会(中央)

暁東町会(会長:成瀬義雄)は暁町にある930世帯で構成しています。町会運営の基本は、全ての行事を町民の全員参加を目指して運営しています。



町会の年間行事で大きいもの

は、祭礼、運動会、そして餅つき大会です。

祭礼は毎年8月に暁公園で2日間開催します。売店づくりや福引き、盆踊りなど準備から後片付けまでみんなで協力しあいます。運動会は10月、とくに高齢者の誰もが気軽に参加できる種目を考案し、親子、孫と一緒に1日楽しく交流できるよう計画しています。となりの町会からも集まってにぎやかです。

餅つき大会は新年のはじめに町会の事始めとして執り行います。二世帯、三世帯の町民が大勢集い、町民同士の年賀の挨拶も行われます。杵を持つのは大人だけでなく、子どもも手を借りて餅をつき、それを記念写真に写す家族も多いです。

11月には町民の多くの参加を得て防災訓練を開催します。「自助、共助の気持ちを大切に」をコンセプトに実施しています。

## スタートはここから

船田町会(横山北)

船田町会(会長:平塚忠勇)は760世帯、12区・50組で構成されています。



町会の定期総会は毎年4月29日の祝日に開催、そして5月の第2日曜日は朝9時から区長、組長など24年度のすべての役員をあつめて、町会の組織の現状、役員の任務と役割、今年度重点課題を明らかにして、当面する取り組みなどをしっかりと意思統一を行っています。終了後は、ただちに第1回役員会を開催し、町会費の徴収や町をきれにする取り組みなどについて確認しました。

夕方は町会の協力団体(防犯・交通安全・自主防災・消防団・老人会・婦人会・ひだまり会・子ど

も会)の代表者会議を開催し、各団体が抱えている課題を提起し合い町会からも要請事項を伝え、車の両輪として町会活動を発展させていくことを意思統一しました。

また、夜は新旧役員歓迎会を開催し、町会の絆を深めあいます。

船田町会の新年度の活動のスタートは、毎年、この日のしっかりとした役員の意味統一から始まっています。

## 地区の絆は交流事業

由木地区連合会

「由木地区町会自治会連合会」(会長:小泉渉)は、昭和60年



よりスタートしており、現在では19の町会・自治会(6,081世帯)が加入しています。

昨年9月には連合会の充実発展を目指して臨時総会を開催し、「会則」を見直すなど新たな再出発をしました。

今年度は5月に定期総会を開催し、年間事業計画・予算案等を決定し、事業の遂行に向けてスタートを切りました。

地区交流事業としては、由木地区の名所旧跡を巡るウォーキング大会を7月に開催します。

10月開催の地区運動会は今年で43回目を迎える伝統ある事業で最大のイベントであります。

来年3月にはグラウンドゴルフ大会を開催します。これには1チーム4人の団体戦で各地区から30チーム120人の選手が参加し、毎年熱戦が繰り広げられています。

その他は役員会と全体会を隔月に開催、今年度からは地区情報紙を年に数回発行(6月に創刊号)し、行事や活動内容をPRしていく方針です。

# 「認知症」を知る

加藤公恵

(医療法人永生会 在宅総合ケアセンター センター長)

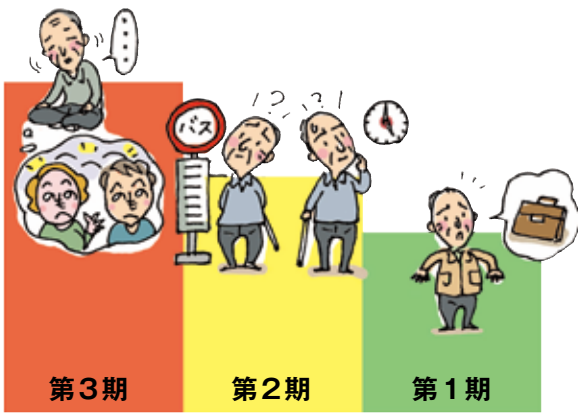


## ■認知症とボケは違う？

年を取ると物忘れがひどくなります。一般的に「ボケ」と言われていますが、老人になるにつれ、記憶が曖昧になり、日常的に物や人の名前を忘れる頻度が高まる傾向にあります。しかし、ヒントを与えれば思い出す程度であれば、老眼になったり、白髪ができる

のと同じで、生理的な脳の老化によるものであり良性のケースが多いです。このような加齢による自然な老化現象と異なり、「認知症」は、脳の働きのうちで「記憶」や「判断能力」といった知的な活動が低下してしまう病気で、いろいろな原因から、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪く

なったために、さまざまな障害が引き起こり、日常生活を送るうえで支障が出てきます。また、ボケと認知症の大きな違いは「忘れ方」に見られます。物忘れは体験の一部の記憶をなくすだけですが、認知症は体験をまるごと忘れてしまうのです。1つの事柄をどんなに集中して覚えようとしても覚えられなくなり、極最近あったことでも忘れてしまいます。要するに、認知症とは、単に老化に伴って物覚えが悪くなるというた誰にでも起きる現象(いわゆる「ボケ」)は含まず、病的に能力が低下する状態を指します。現在、要介護状態となる原因の第2位に上げられていて、85才以上の4人に1人が認知症を患っていると言われています。



**第1期** 物忘れが中心。不安や抑うつなどの合併も見られるが、比較的慣れた日常生活は自立できる状態

**第2期** 日常の動作ができなくなり、徘徊や夜になると錯乱状態になることも。人や時間、場所が分からなくなる

**第3期** 過去の記憶もなくなり、思考決定能力が低下。運動障害が起こり、次第に寝たきりになっていく

※この文章は、加藤公恵さんが監修された本「介護の時間」(廣済堂出版880円)からの転載です

子安神社の斜め向かいのビル2階にある「Ocappa (おかっぱ)」は、木目の茶色と白が基調のおしゃれなカフェ。開店して3年半、オープンきっかけをオーナーの安藤雅子さんは「私も八王子出身・在住ですが、女性ひとりでゆっくりできるカフェが地元にな少ない、と感じて。そんな場所をつくりたいと思い開店しました」と素敵な笑顔で教えてくれました。お客様は9割が女性、高校生から80代の方まで、幅広い年代の方

が来店されています。メニューはワンプレートの食事を中心にケーキなどのスイーツまで、すべてを店内で手作りしています。安藤さんは管理栄養士と製菓衛生師の資格を持っていて、「どうしても不足しがちな野菜など、旬の食材を工夫しながら多く取り入れ、食べていただいた方が元気になるようなメニューを日々考えています」とのこと。全員女性スタッフで、明るい笑顔と細やかな気遣いで迎えてくれる、心なごむカフェです。



CAFÉ Ocappa (おかっぱ)  
八王子市東町3-8 2F  
電話：042-643-3855  
営業時間：11:30～20:00  
(ラストオーダー 19:30)  
定休日：日曜日 座席数：26席  
貸切パーティーやバースデーケーキなどの注文対応も可能。詳細はお問い合わせ下さい。

たまにいくなら  
八王子

自分だけの隠れ家になりたい、  
なごみ系カフェ  
CAFÉ Ocappa (おかっぱ)  
東町3丁目

## 「町自連だより」にあなたの企業をPRしませんか？

この「町自連だより」は、八王子の12万世帯に配られています。八王子の皆さんに、あなたの会社を告知しませんか？  
広告出稿のお問い合わせは

☎042-623-0381

ヒラツカ印刷社 担当平塚、鈴木まで

## 編集後記

昨年は震災で自粛のムードでしたが、2年ぶりのお祭りのシーズンが八王子にもやってきました。お祭りはただ楽しいだけではない、「地域の結束」を強くするいい機会です。一つのお祭りを成し遂げるには、皆の力がが必要です。同時に、各町会の役員の采配力、政治力も試されます。成功に終わったあとは、「この町に住んでよかった」という気持ちに皆に植え付けます。2年ぶりのお祭り、皆で、いい時を過ごしてください。